

## お知らせ

- 総会決定事項；22年度活動計画は3-4頁に記載。役員改選の結果代表に坂本彌、副代表に新井孝男、真鍋昌義、幹事に鶴沢和男、村野忠夫、根本喜代士（新任）、監事に森忠良を選任。久我幹事は退任、お世話になりました。
- 5月の臨時活動日；5月5日（水）植物・食害調査、稀少種保護、野鳥調査、9時30分第二駐車場集合。
- 5月の定例活動日；5月16日（日）シイタケ本伏せ、マダケ林保護柵改修、食害・植生調査、9時30分第二駐車場集合。
- 会員の入退会；◇山口衛さん（市原市）3月25日入会、1月のチェーンソー研修受講以降毎回活動参加、宜しくお願いします。◇山脇末隆さん、健康上の理由で3月31日退会、お世話になりました。◇谷田部昇一さん、規約第6条2項該当により4月1日退会、4月1日現在会員数43名。

## 活動の記録

4月18日（日）晴 参加は新井夫妻、安藤、伊藤、岩崎、鶴沢、占部、大賀、甲斐、久我夫妻、栗山、坂本（文）坂本（彌）根本、長谷川、福島、福田、真鍋、村野、森、山口、会員22名に加え、就活中の須藤君。

年次総会終了後ヒメコマツ研究グループの藤平先生、尾崎、池田、鈴木、久本、柳、熊谷、遠藤、岩澤、小池、和波、11名のメンバーをお迎えしてヒメコマツ植栽。前日までの悪天候がウソのような陽光に恵まれ、森の活動を楽しみました。



明るい春の陽光のもと、植栽を終えて

- 年次総会；出席22名、委任状6名、計28名で会員総数43名に対する定足数を充足して総会成立、代表を議長に議事進行、21年度活動報告、会計報告、監査報告。更に22年度活動計画案・予算案の提案・審議。以下の2点につき若干の議論ののち、全議案原案通り可決承認。役員改選により前記の役員を選出して閉会。
  - ◇森林整備に関し「常緑樹を優先的に除間伐する」ことに対する疑問；具体的には事例ごとに協議する。
  - ◇自生するキノコや草本の外部への紹介は稀少種保全の観点から慎重であるべき；広報担当はホームページ等掲載に慎重を期す。（「千年の森便り」には事実通り記載しますので、取扱いに各自ご留意下さい）

○ヒメコマツ植栽；上総試験地で植栽苗を準備して昼過ぎ入林されたヒメコマツ研究グループ一行の到着を待って、植栽の作業実演・説明後、2班（植栽地 A:禁断の岬斜面、植栽地 B:コナラ林西平坦地）に分かれ、植栽、樹高・根元直径の計測、ツリーシェルターの設置を行った。

◇禁断の岬先端近くの南斜面には、7本のヒメコマツを植栽しました。植栽位置は、尾根に1本と、皆伐した斜面の上部、中部、下部にそれぞれ2本ずつです。傾斜が急で表土が薄く、穴を掘るのにかなりの労力を要しましたが人数が多かったために1時間ほどで植栽、計測、ツリーシェルターによる保護を終えることができました。

◇コナラ林西平坦地は表土も柔らかく植栽は容易、樹高・根元直径計測後、ツリーシェルターによる保護に多少手間取ったが、1時間余で28本の植栽を終えました。合計35本、今後の成長が楽しみです。



急斜面の植栽は健脚組が



植穴に落葉が入らないよう丁寧に

○巨木林調査（林床下層木調査）大賀先生は単身柵内外を調査されましたが、前回までの調査でナンバリング漏れの個体数が予想外に多く200以上あり、今季の調査を完了できず5月に持ち越しました。

○シイタケ収穫；収穫量は4.5kgで、09年植菌したホダ木から多く収穫が出来ました。

昼は長谷川さん丹精の筍汁や筍の煮物を沢山ご馳走になりました。せっかくのこの季節ならではの味をタイミングが合わず、ヒメコマツグループの方々に味わっていただけなかったのが、残念でした。

作業終了後、藤平先生と中央博物館の尾崎上席研究員のお話を興味深く拝聴しました。要点は以下の通りです。

○藤平先生の話 バブル末期の頃、個人所有地だった豊英島が売りに出された。アカシデやアオハダなど貴重な種が混じる落葉広葉樹林であり、川回しによる新田開発の経緯を伝える貴重な文化財でもあることから、先行きを案じて沼田中央博物館館長に相談したところ、関係者に働きかけてくれ県有地になった経緯がある。久しぶりに訪ねて、森が美しくなったとの印象を持った。かつてはマダケが繁茂して荒廃した印象があったが、すっかり落ち着き、高木層のみならず下層木も多様性のある森林になった。今後も、会員の皆さんで、ヒメコマツのみならず豊英島の自然全体を見守っていただけることを期待している。（伊藤記）

○尾崎上席研究員のお話 「フィールドミュージアム」と三島小学校の「教室博物館」の活動を紹介戴きました。陸の孤島で活動している私たち「千年の森」にとっては考えさせられる有益なお話でした。（真鍋記）

○ヒカゲツツジ発見 禁断岬のヒメコマツ植栽の際に、中央博物館の尾崎上席研究員が盛んに植栽斜面の反対側のオーバーハングしている崖を覗き込んでいた。やがて「やはりヒカゲツツジがあった」との声に、足元に気をつけながら崖を覗きこんでみると、中腹にヒカゲツツジ（千葉県最重要保護植物 A 豊英島では A は初出現）がひっそりと開花していた。野生ではめったに見ることはできない貴重な出会いである。花はクリーム色とのイメージであったが、光線のせいかわ白い清楚な花といった印象であった。ヒメコマツとヒカゲツツジは、同じ環境に生育することで知られる。今回のヒカゲツツジの発見で、いみじくも禁断岬のやせ尾根がヒメコマツの生育適地であることが証明された。それにしても、さすが尾崎さんである。（伊藤記）



ヒカゲツツジ(最重要保護植物 A)



ヒナスミレ(重要保護植物 B)

○ヒナスミレ；4月6日シイタケ収穫の日、坂本文雄さんは種名不詳のスミレを発見しました。福田洋先生に同定をお願いしたところ、千葉県重要保護植物のヒナスミレと判明。18日作業終了後、一部の株を金網で保護しました。18日、アカナスミレも発見、サクラの調査も行いましたが紙面の都合で次号に紹介。この日、季節はずれの『ミネシメジ』も見つかり中央博標本に加えられました。

#### 千年の森の皆様へ

房総のヒメコマツ研究グループ代表 藤平量郎

昨日は本当に有難うございました。明るい春の陽光のもとでの植樹は、楽しいひとときでした。確かに森は明るくなっています。以前は住居跡付近にモウソウ竹林があったのでは？記憶はもう定かでなく、昨日そちらへ参りませんでしたがあるように見えませんでした。それも明るい印象になっています。雑木林は人為によってつくりられます。千年の森もそうですが、皆様のご努力で自然の種を残しながら、高木、低木等が非常によいバランスで構成されているように感じ、この森のファンになってしまいました。これからヒメコマツを見に年に何度か訪れる機会があることが楽しみです。今後とも宜しくお願いします。（2010.4.19）

#### 豊英島の素晴らしい一日

東京大学千葉演習林 久本洋子

天気にもまれた4月18日、豊英島に初めて訪れました。湖面がキラキラと輝くのを吊り橋の上から眺めつつ、島に一步足を踏み入れると、そこは芽吹いたばかりのコナラの新緑が目眩しいとても美しい森でした。丸太の椅子の穴の中から1匹のカエルが顔を覗かし、足元にはスミレが咲きほこり、春の日差しに一齐に動植物が動き出したかのようでした。会員のみなさまのこの島に外来種などを持ち込まないというポリシーに大変感銘を受け、大切に育ててきた森の息吹が感じられた素晴らしい一日でありました。（2010.4.20）

## 22年度活動計画

森林整備	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人為を最小限に抑え、極力自然な形で植生を維持することを基本に、森林整備は必要最小限にとどめるが、重要保護植物等保全のため必要な除間伐は行う。常緑樹優先。</li> <li>2. コナラ更新林の実生成長調査を継続する。</li> </ol>	
ヒメコマツ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヒメコマツグループの指示に従い、必要な時期に植栽、シェルター設置、除草、照度調査、シカ被害の調査、樹高・根元径計測等のモニタリングを行い房総のヒメコマツ保全に寄与するよう努める。</li> </ol>	
巨木林調査	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 3年目（2010/11）の下層木調査、成長量調査を継続実施する。</li> <li>2. 07年に設置した巨木林内の植生保護柵内外についても、植生変化調査方法を検討し実施する。</li> </ol>	
ニホンジカ・動物対策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ニホンジカ頭数調査、センサーカメラによる生態調査は継続実施する。ニホンジカ体験活動は休止する。</li> <li>2. マダケ林保護柵などの損傷は補修又は改修を行う。その他必要に応じて部分的なスポット保護を行う。</li> <li>3. ヒメコマツについては指示に従い調査・保護を行う。</li> </ol>	
植生調査	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊英島植生リスト及び写真集の完成を目指し、集中的に調査する。未確認種の搜索と画像の収集。</li> <li>2. 食害調査の調査頻度と点数を増やし、データの信頼性を高めるとともに、判定基準の統一を図る。</li> <li>3. マダケ林保護柵内の推移を記録する。</li> </ol>	
野生キノコ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講師をお願いし、秋のキノコ観察会を実施する。</li> <li>2. リスト・標本作製・写真撮影を再開する。</li> </ol>	
野鳥観察	野鳥班を立ち上げ、ルートセンサス調査など実施する。	
照度調査	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 島内10地点の調査、巨木林調査区の測定を継続。</li> <li>2. ヒメコマツ植栽域の測定。</li> </ol>	
安全研修	チェンソー安全研修を実施する。（里山センター主催又は当会独自）	
キノコ栽培	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 収量調査を簡素化する。収穫のメンバー不足を解消するよう工夫。</li> <li>2. 今年度はシイタケのほかヒラタケ植菌も検討する。適材あれば。</li> </ol>	地元勢の充実
画集「豊英島の自然」編集	画集「豊英島の自然」編集、活動開始10周年（2012）完成を目指し、島の四季、植物、動物、野鳥、キノコ等の撮影、画像集め。	編集委員長 ＝写真班長
班の再編と活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広葉樹林調査班*（照度調査、巨木林調査、コナラ更新調査） 福島</li> <li>・植物班（植生調査、食害調査） 栗山</li> <li>・動物-野鳥班（動物・野鳥観察調査、センサーカメラの管理） 坂本文</li> <li>・キノコ班（野生キノコの調査、目録・標本作製） 村野</li> <li>・栽培キノコ班（栽培キノコの管理と収穫） 根本</li> <li>・整備班 鵜沢</li> <li>・写真班 伊藤</li> </ul>	*調査・データ整理の協力支援体制を充実する

## 22年度定例活動日

月日（曜日）	主な活動	
4月18日（日）	年次総会、ヒメコマツ植栽、 巨木林調査、食害調査、植生調査	
5月16日（日）	マダケ林保護柵改修、シイタケ本伏せ、 食害調査、植生調査	
6月13日（日）	シカ個体数調査、水辺清掃、広場整備、食害調査、植生調査、 ヒメコマツ植栽地管理（除草、食害調査）	
7月19日（月）	照度調査（島内・巨木林）食害調査、植生調査 照度調査（ヒメコマツ）	
9月20日（月）	シカ個体数調査、植生調査・食害調査 ヒメコマツ植栽地管理（除草、食害調査）	
10月16日（土）	きのこ観察会	
11月23日（火）	安全研修、森林整備（除間伐） 巨木林調査（下層木）	
12月4日（土）	巨木林調査（成長量・下層木）、きのこホダ場保護柵、	
1月10日（月）	巨木林調査（成長量・下層木）照度調査	
2月13日（日）	発表会、キノコ種菌、	
3月21日（月）	シカ個体数調査、食害調査、植生調査 ヒメコマツ樹高・根元径計測	

主な活動のほかに各班は余裕時間を活用し班活動を行う。

また定例活動日のほか必要に応じて臨時活動日を計画する。

1. 総会提出議案書の6月活動日が「6月14日（日）」となっていました。正しくは「6月13日（日）」です。
2. 変更がない限り活動日の案内はありませんので、この予定表に従ってご参加ください。
3. 臨時活動日は別途事務局又は各班からご連絡します。
4. 特に連絡がない限り、9時30分、清和県民の森第2駐車場集合です。